

阿南医療センターにてCT検査を受けられる方へ

あなたの体を詳しく調べるために、CT検査を行うことになりました。CT検査には放射線被曝というリスクがありますが、あなたの場合それをはるかに上回るメリットがあると期待されます。この説明は検査に納得し、安心して放射線診療を受けていただくために重要なものですから、検査に先立ちましてご確認ください。

被曝による影響は一定量以上の被曝量により高率に引き起こされる組織障害（確定的影響＝皮膚障害、不妊、脱毛、白内障など）と、閾値がはっきりしない障害（確率的影響＝がん、白血病など）に分かれます。CT検査においては年齢、体格、撮影方法や範囲などにより異なりますが、一般に5～10mSv前後の被曝が想定されます。これは組織障害を起こすとされる閾値よりはるかに少なく、確定的影響のリスクはきわめて低いと考えられます。また確率的影響についても、100mSv以下の被曝については統計上自然発生率の変動範囲内であり、放射線被曝の影響を確認できないレベルとされています。

上記のように影響は非常に小さいとはいえ、放射線被曝はリスクではあります。あなたの場合はそれをはるかに上回るメリットがあると判断される必要な検査となっています。

当院では最新の医療機器を用い、装置の最適化や柔軟な撮影計画作成、体格や年齢に応じた線量コントロールなどにより被曝量の低減を図っています。さらに定期的に線量管理を行い、標準的な被曝線量（診断参考レベル）に照らし合わせて不要な被曝がないかを確認し、診断に足る画像の質を担保しつつ、被曝の低減に努めています。

ご不明な点や心配な点がございましたらお尋ねください。

阿南医療センターにおける平均的な被曝線量（実効線量：mSv）

頭部	胸部	腹骨盤部	胸～骨盤部
1.8	4.5	8.3	8.3

(参考：胸部単純写真 0.06mSv)

私は上記の説明を読み、あるいは説明を受けた上で、阿南医療センターにてCT検査を受けることに同意します。

日付 年 月 日 署名 ()

阿南医療センター 放射線科 0884-28-7777 (代表)